

東京医科歯科大学医学部附属病院
「みんなの健康を育む病院だより」



オアシス



INDEX

若手医師たちと談笑する田中雄二郎病院長

- 2 心のこもった先進医療を提供できる病院に◎田中雄二郎病院長のご挨拶
「頼れる病院ランキング」◎当病院が都内で1位、全国5位になりました
- 3 災害対策訓練を行いました◎震度6弱の地震を想定し277人が参加
「医療連携支援センター」◎病院正面玄関横にリニューアルした医療連携支援センター
- 4 新科長等の紹介◎膠原病・リウマチ内科、肝胆膵外科、保険医療管理部
- 5 栄養サポートチーム (NST) をご存知ですか？
奨学寄附金・大学基金のお願いなど
- 6 診療科の紹介◎患者さんの質問に答えます！（第1回消化器内科）
研修医制度って？◎「アカデミックドクター」を育成中
- 8 駐車場が新しくなります！/スターバックスコーヒーがオープンしました/
セブンイレブンが移転しました





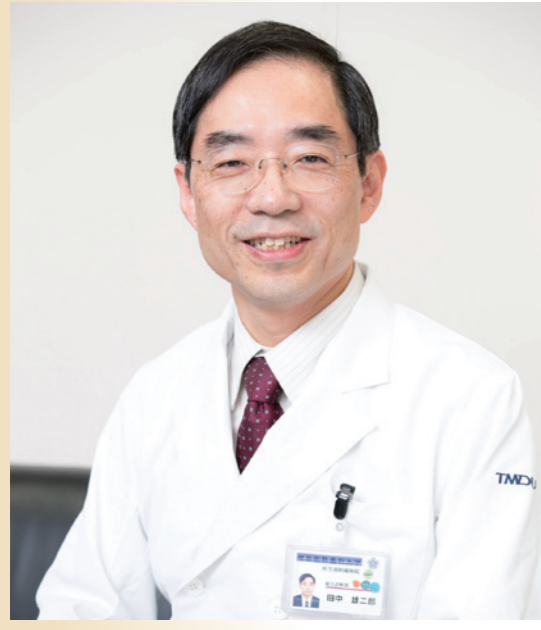
Message



病院長よりご挨拶

心のこもった先進医療を多くの患者さんに提供できる病院に

田中 雄二郎 病院長
Yujiro Tanaka



私が病院長になって8か月が経ち、その間、心のこもった先進医療を、多くの患者さんに提供することで、社会に貢献していこうと、取り組んでまいりました。患者さんは、病気を抱え、辛い心身状態で、当院にいらっしゃいます。私たち病院スタッフは、少しでも早く患者さんが健康を取り戻し、お元気になるように、誠意と真心をこめて医療を提供しています。

このような私たちの姿勢を、一目でご理解いただけるように、スタッフ一同が心の余裕を持ち、さわやかな笑顔と清潔な身だしなみで、患者さんに対応するように努めております。

さらに改善すべき点は多々ありますが、今後は、ひとつひとつの改善点に対して、具体的な目標を掲げて、その目標を達成し、より良い医療サービスを皆様に提供できるように、一同、真摯な態度で取り組んでまいります。

東京医科歯科大学医学部附属病院の目標

- 1 患者中心の良質な全人的医療の提供
- 2 人間性豊かな医療人の育成
- 3 高度先進医療の開発と実践
- 4 国民のニーズに応える開かれた病院

「頼れる病院ランキング」

当院が都内で1位、全国5位になりました

救急医療、難病治療などに高い評価

ビジネス誌として創刊100年の歴史を持つ『週刊ダイヤモンド』特大号2013年10月26日号の「頼れる病院ランキング」特集で、当院が全国第5位、東京都内では第1位にランキングされました。このランキングは、(株)ダイヤモンド社が全国の1205病院を集計したもので、医療の機能及び経営状態(13指標)の配点(100点満点)の集計で、本院は97点でした。診療、医学研究、医療スタッフ教育の3つの機能がバランスよく稼働していること、難病に特化した難病治療部(5つの先端治療センター)の設置、年間の救急車受け入れ件数が8636件と全国1位(2012年)であることなどが評価されました。



「医療連携支援センター」

病院正面玄関横にリニューアルした医療連携支援センター

入退院時の相談や、医療福祉に関する問い合わせに対応する医療連携支援センターが病院1階正面玄関横に新しくオープンしました。患者さんやご家族が迷わずご訪問できるように、わかりやすい場所に移動しましたので、ぜひご活用ください。

受付時間は平日9:00~16:00(土日祝、12/29~1/3は除く)です。当院や地域医療、医療保険に関するパンフレットや資料も取り揃えています。



災害対策訓練を行いました

震度6弱の地震を想定し277人が参加

「備えあれば憂いなし」をより確実にするために

地震や台風などの自然災害は、いつ訪れるかわかりません。そのためにも、日頃から災害が起きたときの対応策について、しっかりと準備しておく必要があります。当院では、震度6弱の地震が発生し、院外からの負傷者が100人程度発生し、病院の診療機能に一部被害が出たと想定して、9月14日午後1時から「災害対策訓練」が行われ、277人のスタッフが参加しました。

当院の「災害対策マニュアル」を用いて、災害対策時にもっとも重要となる『指揮命令系統の確立』、『情報

伝達』、『人々の流れのコントロール』などが、迅速・安全に行われるように、①一斉放送(災害発生時、状況報告、避難の必要性について等)、②災害対策本部の立上げ、③院内情報収集と共有化(指揮命令系統の検証)、④患者さん・ご家族・職員の状況と病院被害状況の把握~災害対策本部への報告、⑤指揮命令系統に基づき、在院職員へ任務分担と配置、⑥トリアージエリア・中等症エリア・軽症エリアの設置、⑦臨時病床の設置、などを行い災害対策における一連の流れやマニュアルの内容



災害対策本部



中等症手当風景



トリアージ風景

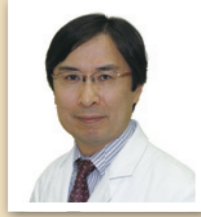


全体集合

について検証しました。実際に訓練を行った後に、改善点・見直し点などを、病院内できちんと話し合い、マニュアルに反映します。

「災害マニュアル」には、外来患者さんおよび入院患者さんの安全確保と避難方法についても、詳しく手順が決められ、病院スタッフが共有しております。災害発生時には、必ず病院スタッフの誘導に従って行動していただくように、改めてお願いいたします。

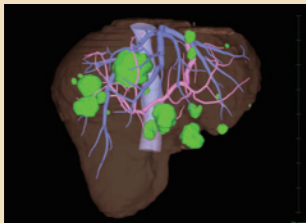
新たに各診療科等の部・科長(代表)になった医師をご紹介します。



肝胆膵外科長
田邊 稔 教授

肝臓、胆嚢、膵臓の難病やがん治療にも対応します

2013年4月より東京医科歯科大学肝胆膵外科教授に着任いたしました。前職の慶應義塾大学病院で培った低侵襲治療や難治癌に対する高難度手術の経験を生かして、より多くの患者さんのニーズに応えたいと考えております。また、科学的エビデンスに基づいたデータや画像を用いて、患者さんにわかりやすい説明を心がけています。肝胆膵領域でご相談があれば、いつでもお気軽にご相談ください。



取り扱うおもな疾患

肝腫瘍(肝細胞がん、肝内胆管がん、転移性肝がんなど)、膵腫瘍(膵がん、膵内分泌腫瘍など)、膵粘液嚢胞性腫瘍(IPMN)、胆管がん、胆嚢がん、胆嚢ポリープ、胆嚢・胆管の炎症性疾患、胆石症、胆管結石症、先天性胆道拡張症、急性・慢性膵炎、膵腫、門脈圧亢進症、肝不全など。

おもな診断・治療法

CT、MRI、超音波、内視鏡、PETなどで診断。当病院は年間約140例の肝切除、40例の膵切除を行う国内でも有数の施設です(2011年)。肝切除における3次元画像支援ナビゲーション、高度進行がんに対するオーダーメイド治療、低侵襲な腹腔鏡下手術など、先進的医療を行っています。肝不全の患者さんには、肝移植の適応評価を行っています。

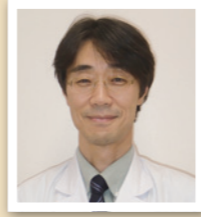


保険医療管理部長
藍 真澄 教授

適正な診療報酬請求をサポートします



2013年7月より着任しました。当院は保険医療機関であり、当院で働く医師は全員保険医です。社会保険医療に関する法令や制度は多岐にわたり、特に診療報酬に関しては詳細にルールが定められ、必要書類等の管理が求められています。保険医療管理部では、医療者と診療報酬請求事務部門の連携を図るハブの役割を担うことにより、適切な診療報酬請求をサポートします。近年ではチーム医療の重要性が強調されていますが、診療報酬請求は医療者のみならず病院全体のチームワークが重要です。当院は、医療多職種を保険医療管理部に配置し、連携する医事課診療報酬対策室の事務職員とともに職種を超えたバリアフリー化を果たしました。適切かつ迅速な会計処理により、患者さんをお待たせする時間をできる限り短縮することを心がけています。



膠原病・リウマチ内科長
上阪 等 教授

他科との協力体制でトータルケアを行います

2013年8月より着任しました。当科には多数の優秀な膠原病・リウマチ専門医が所属し、豊富な臨床件数と、きわめて良好な治療成績を挙げています。また膠原病・リウマチ先端治療センターもあり、整形外科をはじめとする他科との綿密な協力体制を整えてトータルケアができるのが特徴です。また、膠原病やリウマチは、慢性の経過を取るために、患者さんとは10年、20年という長いお付き合いになるケースが多く、患者さんのライフスタイルを考慮したメンタルな面でのケアも必要になります。患者さんの抱える痛みや不安を少しでも軽減して、患者さんの世界をプラスの方向に変えるための、トータルなケアをしています。

取り扱うおもな疾患

関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎・皮膚筋炎、血管炎症候群(結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、ウェグナー肉芽腫症、アレルギー性肉芽腫性血管炎など)、強皮症、混合結合組織病、シェーグレン症候群、成人スティル病など

おもな診断・治療法

関節リウマチの早期診断とメトトレキサート及び生物学的製剤を用いた早期治療、難治性膠原病に対する免疫抑制療法



NST

栄養サポートチーム(NST)をご存知ですか?



栄養療法のプロが集まり患者さんの健康と早期治療に努めます

栄養サポートチーム(NST)とは、患者さんに最適な栄養療法(食事や補助栄養)を提案し、主治医と共に患者さんの栄養状態の改善に努め、治療効果をもつことを目的として活動する組織です。栄養療法について専門的知識を有する、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・言語聴覚士・臨床検査技師から成り、それぞれの専門的立場から各患者さんへの適切な栄養療法を協議し、具体的な提案を行っています。当院では、主治医からの依頼により、入院患者さんを対象に栄養のサポートを行っております。また、各病棟のNST担当看護師とも連携して、活動しています。



NSTチームの病棟への回診

奨学寄附金のお願い



東京医科歯科大学ではさまざまな病気に対する治療法や治療薬の開発に結びつく研究や、患者さんに信頼される医療人となるための教育を行っています。奨学寄附金は東京医科歯科大学が行っている人材育成や研究活動に対してのご寄附を企業や個人の皆様から募っております。特定の診療科や医師を指定して寄附することも可能で、金額も決まっておりません。寄附金は税制上の優遇措置が講じられます。詳しいことは下記にお問い合わせください。

問い合わせ先

研究・産学連携推進機構事務局 産学連携室 産学連携掛
TEL: 03-5803-4927 FAX: 03-5803-0179

東京医科歯科大学基金のお願い



東京医科歯科大学基金は、皆様のご支援により、世界中で活躍する医療人を育み、知と癒しの匠を創造するために次のような「基金事業」に活用されます。ご寄附は一口1万円です。また、税制上の優遇措置が講じられます。詳しいことは下記にお問い合わせください。

- 国際交流事業 留学生の支援・学生の海外派遣の推進・海外拠点の支援・外国の大学などとの教育・研究協力・交流の支援
- 学生育成奨学事業 優秀な学生への奨学金の充実・勉学環境の充実
- その他の事業 産学連携・社会貢献活動の支援

問い合わせ先

東京医科歯科大学募金室
TEL: 03-5803-5009 FAX: 03-5803-0273

セカンドオピニオン外来とは



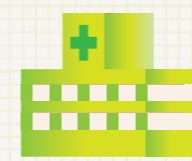
セカンドオピニオン外来は、当院以外の主治医にかかられている患者さんを対象に、診断内容や治療法に関して、意見・判断を提供し、今後の治療の参考にさせていただくことを目的としています。ご希望の方は、まず現在の主治医と相談の上、セカンドオピニオン外来にお申し込みください。

なお、当院での診療内容に関して、他院でのセカンドオピニオンを希望される方は、担当医にお申し出ください。必要な診療情報提供書や資料をご用意いたします。

問い合わせ先

医療支援課セカンドオピニオン外来受付担当
TEL: 03-5803-4568 FAX: 03-5803-0119

献体のご紹介



献体とは、医学・歯学の大学における解剖学の教育・研究に役立たせるため、自分の遺体を無条件・無報酬で提供することをいいます。自分の死後、遺体を医学・歯学のために役立てたいと志した方は、まず最初に生前から献体したい大学や団体に名前を登録しておく必要があります。献体に関するお問い合わせは、下記をお願いいたします。

問い合わせ先

東京医科歯科大学献体の会
TEL: 03-5803-5147

診療科の紹介

当病院の診療科の紹介と、患者さんからの質問にお答えするコーナーです。

第1回 消化器内科

炎症性腸疾患、C型肝炎・肝癌、小腸内視鏡では日本でも有数の技術力です

2001年に設立した当院の消化器内科は、現在200人を超える医局員を抱え、情熱、誠意、探究心が溢れるメンバーが患者さんをお待ちしています。炎症性腸疾患、C型肝炎・肝癌、小腸内視鏡では日本でも有数の技術力を有し、世界トップレベルの診察と治療を提供できるよう、一人一人が精進しています。国内外の医学会での研究成果の発表でも注目を集め、難病に対する再生医療を用いた最先端の治療法の研究でも、高い評価を得ています。

取り扱うおもな疾患

炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎）、ウイルス性肝炎（B型肝炎、C型肝炎）、肝がん、特殊内視鏡（バルーン内視鏡、カプセル内視鏡）、食道・胃・膵臓の化学療法

おもな診断・治療法

消化器病学は消化管および肝臓、胆道、膵臓など、臓器として多くの領域をカバーするだけでなく、解剖、生理、病理学を基礎として、免疫学（炎症、感染症、自己免疫など）、腫瘍学、遺伝学、栄養学などの幅広い病態学におよびます。また、診断学においても内視鏡検査などの画像診断の進歩は目覚ましく、治療学の進歩も華々しいものがあります。



患者さんの質問に
答えます！



答えてくれる先生

消化器内科長

渡邊 守 Mamoru Watanabe



Q1

初孫が生まれました。B・C型肝炎の検査やピロリ菌の検査・除去は受けた方がいいのでしょうか？ たぶん今まで一度も受けた覚えがありません。孫にうつらないか不安です。(60代女性)



A お孫さんのために、検査を受けてください。ピロリ菌の感染防止のため、口移しでものを与えないで！

B型・C型肝炎は感染していてもほとんど無症状ですが、感染していると高率に肝硬変や肝がんを発症してしまいますので、必ず1度は血液検査を受けることをお勧めいたします。もし感染しているとわかった場合は、ぜひ当院の消化器内科を受診してください。当院では多くの方が専門的な最新の治療をお受けになり、良好な成績をあげていますので安心です。一方、B型やC型肝炎は血液や体液を介して感染しますので、お孫さんとの通常の生活でうつることはまれと考えられます。ただ、乳幼児は免疫力が未だ不十分ですので、感染している人の血液や体液で汚染されたものが乳幼児に直接触れないようにする注意は必要です。もちろん歯ブラシやカミソリの共用はいけません。

それから、ピロリ菌が胃の中に感染していると、慢性胃炎や胃・十二指腸潰瘍、さらには胃がんの原因になることもあるので、こちらも検査をなさった方がよろしいかと思います。検査は内視鏡検査の他、比較的簡単な呼気ガスや血液検査・検便でも調べることができます。日本人の半数以上がピロリ菌に感染していると言われてはいますが、もし感染していると判明しても今では飲み薬による除菌治療により70%～90%の方で除菌が成功しています。ピロリ菌は経口感染し多くは免疫力が不十分な乳幼児期におこると考えられていますので、お孫さんに口移しでものを与えたりはしてはいけません。

Q2

21歳の息子がいる病院でクローン病とわかり、治りにくい病気と言われて落ち込んでいます。東京医科歯科大学を受診させようと思いますが、どんな治療方針で臨んでいたのでしょうか？(50代男性)



A ここ数年の治療の進歩は目覚ましく、多くの患者さんで症状の改善が望めます。

息子さん、「治りにくい病気」を、これからの長い人生、共に過ごしていくのかと思うと、親御さんとしても、大変に心配で不安になりますよね。確かに現時点でクローン病を治すことは困難ですが、ここ数年の治療の進歩は目覚ましく、多くの患者さんで症状の改善が望めます。一方、治療法が増えたことで、専門家といえども、そこからの選択が難しくなっているのも事実です。また、クローン病は一生の病気でもありますので、一時的な症状の改善だけでは不十分で、長期的に病気をコントロールして、合併症（および手術）の予防をすることが重要です。有効で安全な治療はもちろんですが、私達の施設では、患者さんの一人一人の日常生活への影響に配慮して、検査や治療を患者さんといっしょに決定しています。是非、一度いらしていただいて、お話を聞かせてください。お待ちしております。

Q3

大腸内視鏡で大腸癌と診断されました。腫瘍のサイズが大きいので手術が必要と言われました。内視鏡で切除することは可能でしょうか？(40代男性)

A 癌の根が浅い大腸癌であれば、大きさに関わらず内視鏡治療が可能です。

一昔前は腫瘍のサイズが大きいくだけで、技術的に内視鏡切除ができずに手術せざるを得ませんでした。しかし現在の大腸癌治療方針はサイズで決まるわけではありません。癌の根の深さ（深達度）が重要です。当科では通常の内視鏡観察に加え、画像強調や色素を用いた拡大内視鏡観察を用いて正確な深さ診断を行っています。癌の根が浅い大腸癌は内視鏡治療で完治が期待できます。当科では低侵襲に確実な切除を期待できる内視鏡的粘膜下層剥離術を導入し、治療を受けた多くの患者様から喜びの声を頂いています。癌と言われても内視鏡で切除可能な病変も数多く存在します。是非一度、当科で精密検査を受けて下さい。



研修医制度って？

医療をリードし、
社会に貢献する
「アカデミックドクター」を
育成中！

実践に強いお医者さんになるためには、医学部6年間を終え、無事に医師国家試験を合格し、晴れて「医師」になってから、さらに「卒後臨床研修」を受けることが義務付けられています。当院でも、毎年約120名の研修医たちが、先輩医師たちの丁寧な指導を受けながら、医療の現場でさまざまな経験を積んでいます。当院は、医師の人材育成にも力を注ぎ、研修希望者の数も日本全国でトップレベルの数と評価をいただいております。将来、日本の医療をリードし、社会に貢献する医師を育てるために、基本的な医療技術を身につけることを目標に、若い医師たちががんばっております。

よろしく
お願いします。



松本和明
研修2年目(29歳)



子供の成長や発達に関われることにやりがいを感じる事ができる小児科医をめざします。小児血液腫瘍の研究に興味があり、国内外で臨床や研究をしてみたいです。

INFORMATION



駐車場がリニューアルしました！

303台収容の大型立体駐車場。病院へのアクセスもより楽に！

2013年12月、立体駐車場が完成しました。収容台数は303台で、本郷通りから左折して、入庫できます。最上階は、季節の花や植物が楽しめるスペースになっており、ベンチも設置してありますので、憩いの空間としてご利用ください。病院入口にも直結しているので、大変便利です。2012年11月から始まった立体駐車場の工事中は、皆様にご迷惑をおかけしましたが、無事に完成しましたので、ご利用ください。



病院前のメタセコイアの木

当院前の大きな木をご存知ですか？ 種類は「メタセコイア」で、1956年医学部7回生が古畑種基教授の文化勲章受章を記念して植樹したものです。（左の背の高い木が「メタセコイア」）



当病院が東京都小児がん診療病院に認定されました

9月1日付で、当院が東京都小児がん診療病院に認定されました。来るべきがん診療連携拠点病院認定へ向けての大きな第一歩にもなりました。



迷ったら表示板をご利用ください

当院は、大学構内にあり、たくさんの建物が並んでおります。もし道に迷ったら、各所に建物の名称を表す表示板を設置しましたので、ご利用ください。



スターバックスコーヒーがオープンしました

ホッと一息、くつろぎのカフェ。季節感あふれるメニューも楽しみ！



2013年6月28日にオープンしたカフェテリア「スターバックスコーヒー」。お茶の水門正面にあり、毎日たくさんの方にご利用いただいております。陽射しが差し込む、明るい店内で、ほっと一息ついて、くつろげる空間です。季節毎の限定メニューを揃えてお待ちしておりますので、どうぞご利用ください。

営業時間

平日・土曜日 AM6:30～PM9:00 / 日曜・祝祭日 AM8:00～PM7:00

セブンイレブンが移転しました

必要なものを必要なときに…。24時間営業しています



2013年6月24日より、コンビニエンスストア「セブンイレブン」が、病院正面タクシー乗り場前に移転しました。24時間休まず営業しております。どうぞご利用ください。

なお、入院関連用品を中心に取り扱う「医療売店」は、移転しないでそのまま1階ロビー横にあります。こちらも併せてご利用ください。場所がわからない場合は、病院入口の「案内」係にお問い合わせください。

東京医科歯科大学医学部附属病院 広報誌「オアシス」5号
発行 東京医科歯科大学医学部附属病院
〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45
東京医科歯科大学医学部附属病院総務課
デザイン・SOYA
編集・宇山恵子
撮影・田山達之

オアシスについてのご意見・ご感想は
syomu2.adm@tmd.ac.jp までご連絡ください。
本書の無断複写（コピー）は著作権法上での例外を除き、
禁じられています。